

LNG政策 “第3国へのビジネス展開、を重視

	ステージⅠ (1969年～1988年) 【LNG輸入】	ステージⅡ (1989年～2017年) 【LNG輸入＋上流権益参画】	ステージⅢ (2018年～) 【LNG輸入＋上流権益参画 ＋第3国へビジネス展開】
政策目的	<ul style="list-style-type: none"> ① 石油代替エネルギーとしての天然ガスの導入・利用促進（1973年、79年の二度の石油危機を経て） ② LNGの安定的な輸入確保 	<ul style="list-style-type: none"> ① 更なる天然ガスの導入・利用促進 ② 上流権益への参入による輸入の長期安定化、多角化 	<ul style="list-style-type: none"> ① 中国需要が急拡大し、日本の輸入シェアが減る中でも、我が国の安定調達を確保した上で、第3国向けも引き取ることで、日本のLNG市場への影響力を維持 ② 日本のLNG関連技術を第3国に展開し、上流～下流までサプライチェーン全体に亘る需要家のビジネス展開を支援
代表施策	<ul style="list-style-type: none"> ・「石油代替エネルギーの開発及び導入の促進に関する法律」（1980年） （安定供給確保、液化基地・LNGタンカー・受入れ基地の整備、需要の喚起） 	<ul style="list-style-type: none"> ・IGF（Integrated Gas Family）21計画（1990年） （都市ガス事業者のナフサ・ブタン等から天然ガスへの転換促進） ・石油公団法改正（1994年） （ガス/LNGの開発・生産へ出資可能に） ・JOGMEC法改正（2012年） （ガス/LNGの開発・生産へ産投出資可能に） 	<ul style="list-style-type: none"> ・LNG産消会議で発表した政策パッケージ（2018年） （JOGMECは、上流権益への参画がなくとも、日本企業の液化プロジェクト参画も支援可能に。NEXI/JBICは、日本企業が参画する第3国向けのLNGプロジェクトや、LNG受入基地のプロジェクトも優遇条件で支援可能に）
実態	1969年～ アラスカから輸入開始 1972年～ ブルネイから輸入開始 1977年～ UAE、インドネシアから輸入開始 … 等	1989年～ 西豪州LNGから輸入開始（三井・三菱が上流参画） 1996年～ カタールLNGから輸入開始（丸紅・三井） 2006年～ 豪ダーウィンLNGから輸入開始（INPEX、東京ガス、東京電力） 2009年～ 露サハリンⅡLNGから輸入開始（三井・三菱） … 等	2018年～ 初の長期契約に基づくシェール由来米国LNGを輸入開始 将来的に、欧州等への転売も想定し、1500万トン／年を米国から引取り 2018年～ INPEXが日本企業で初のオペレーターとなるイクシスLNG出荷開始 ⇒ 目指す姿 2030年時点で、日本企業が相当量の取扱い 日本のガス・電力会社が、海外でガス関連ビジネスを展開